

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	きららkids奈良		公表日		2025年 3月 21日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		・日による。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく 構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		・遊ぶ場所や集中して遊べるようにコーナーがされている。子どもたちも落ち着いて遊べている。 ・生活空間は適切だが、外扉にオートロックのような鍵があればなおいいと思う。 ・一人スペースを完成させないといけない。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	1	・こまめに掃除している。 ・マットの隙間にほこりや棚のすみにクモの巣があったりするのでこまめに掃除していく	・今までの清掃に加えて、朝に掃除や環境の整備を行う。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		・人数が多い時に個別の部屋を使用できない時もある。 ・トレーニングを集中して取り組めるよう個室を使用する。落ち着いて過ごしたいとき、気持ちを整理する時にも使用している。 ・イライラしたときに個別の部屋に入ってバランスボールで発散するなど子どもが落ち着くスペースを必要に応じて作っている。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	1		・振り返りの時間を確保するため、時間を区切って設定する。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		・面談や何かあればその都度意見を聞いてもらっている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	8		・外部講師や評議員による指導の機会を取り入れる。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		・虐待研修やてんかん研修など参加してる。 ・外部研修で学んだ内容を職員間で共有している。	
適切	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		・公表はまだ ・プログラムは細かに相談する必要があるが支援については支援員一人ひとりの質それぞれが向上していると感じる。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		・担当者がトレーニングや普段の姿を他の職員とも共有しながら検討している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		・毎日の日動に記載している。 ・再確認するようにしていく。6ヶ月毎なので2か月後以降に“何だったかな？”と感じた時に支援員間でやりとりしてく必要あり。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		・分かりません。	

な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		・毎週毎にトレーニングは変わっている。個別トレーニングはその都度変わる。 ・過去のプログラムと比較して固定化しないように心がけている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		・こまめに相談、打ち合わせをしながら取り組んでいる。 ・午前と午後にミーティングを行い最近の子供の様子を振り返ってどのような支援が必要か考えている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	2	・利用者が次回利用の日に事前打ち合わせなどでアプローチのことや注意点、配慮点を共通確認するようにしている。 ・打ち合わせ時間は設けていないが職員同士で気になった子供の様子を情報共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		リタリコに記録を打ち込み全職員で共有している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	2	・もっとできたらなと感じる。	・他施設の見学などを通して連携を強化する。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	1	・図れているところもあれば難しい場合もある。	・さらに連携を強化できるように検討する。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	2	・分かりません。	・保護者のニーズに応じて対応していく。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	4	・スーパーバイズや助言を受ける機会が欲しい。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	7	・散歩の時に公園で合ったこどもと交流するくらい。	・公園活動などを活用して交流する機会を検討する。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		・なるべく具体的に分かりやすく伝えようと心掛けている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	4		・実施に向け検討中。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9				

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9			・ご家庭での悩みを傾聴し、必要に応じてお子さん向けの視覚支援教材を作成している。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	8		・来年度出来たらもう。 ・ニーズに応じて検討していく。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9			・海外から来られて日本語があまりしゃべれないお母さんに対してジェスチャーや写真イラストを用いたり簡単な日本語で伝えたりしている。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	8		・地域の施設や公共機関を見学したり交流できる機会を設定していく。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8			・感染症マニュアルは全職員が実際に処理方法を実施している。 ・防犯訓練を行う。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9			・避難訓練は年に2回行っている。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	2		・該当者なし
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	1		・より強化できるように検討していく。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	4		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9			・全職員で共有できている。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	2		・奈良は今のところいない。 ・該当者なし。